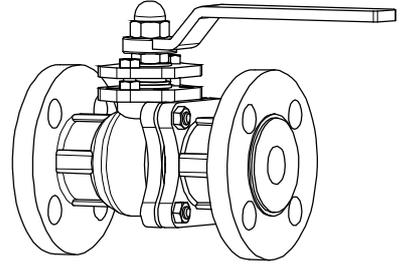




本製品を正しくご使用いただけますよう本書を最後までよくお読みください。

概要

広い圧力・温度範囲で使用可能なフランジ式手動弁。  
優れた耐化学薬品性を実現する PFA ライニングボールバルブ。



操作方式

レバー

バルブ

BL シリーズ 接液部 PFA ライニング処理

製品コード

BL シリーズ    M A - B L L - 1 <input type="checkbox"/> F T - <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> - <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>		
(1)    (2) (3) (4) (5) (6) (7) (8)    (9)    (10)		
(1) 操作機型式 MA-	(6) 本体材質 T : SCS13A S : SCPH2	(10) オプション
(2) 弁型式 BL	(7) ボール材質 F : PFA ライニング	
(3) 操作方式 L : レバー	(8) シート材質 T : PTFE	
(4) ハイフン	(9) 呼び径 [A] ex. 25 A → 025	
(5) 接続規格 1 : JIS 10K		

バルブ仕様

冷温水
 油
 気体
 蒸気
 化学薬品
 海水
 スラリー
 負圧条件

BL シリーズ

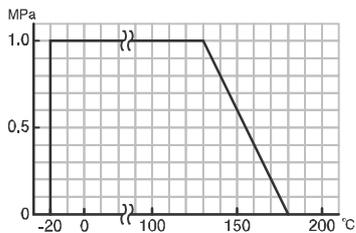
弁型式	BL		
本体形状	2方弁 フルポート		
接続規格	JIS10K フランジ形		
適用流体			
最大圧力	1 MPa		
呼び径 [A]	15 ~ 150		
弁材質	本体	SCS13A + PFA ライニング	SCPH2 + PFA ライニング
	ボール	SCS13A + PFA ライニング	
	シート	PTFE	
ステムシール	パッキン	PTFE	

注) 接液部 PFA ライニング処理

製作範囲

呼び径 [A]	本体材質	
	SCS13A	SCPH2
15	○	○
20	○	○
25	○	受注生産
40	○	受注生産
50	○	受注生産
65	○	○
80	○	受注生産
100	○	○
150	○	受注生産

使用圧力と温度範囲



## 手動弁取扱注意事項

### ご使用にあたって

#### ①運送上の注意

丁寧に取扱い、落としたり、投げ下ろしたりしないでください。

#### ②保管上の注意

・長期又は一時保管の場合は梱包のまま整理して保管してください。直射日光が当たる場所、ほこりの多い場所、水滴がかかる場所は避け、製品に無理な力が加わらないようにしてください。

・配管ポートの防塵キャップは配管するまで外さないでください。

#### ③製品の確認

・据え付け前に、必ず製品型式が正しいか、確認してください。  
・ボルト類に緩みが発生していないか点検してください。

#### ④手動操作時の注意事項

・高温、又は低温の流体に使用する場合は、レバー部の温度に気を付けてください。  
・素手での操作は避け、軍手等の保護対策を必ず行ってください。

### 手動弁の取付け

#### ①配管の注意

バルブを接続する前に、配管内に異物（溶接スパッタ、さび、スケール、砂等）が残存しないように清掃してください。

#### ②フランジ接続上の注意

・配管用ガスケットは流体性状、圧力、温度に適したものを選定してください。  
・大きな温度変化が頻繁に起こる場合は配管パッキンの面圧低下を防止する為にスプリングワッシャの使用をお勧めします。  
・ボルトの締め付けは、必ず平ワッシャを使用し、対角線上を交互に均等な力で締めてください。スプリングワッシャの併用はシール性を向上させます。

#### ③ライニングボールバルブの注意

・バルブを取り付ける直前までフランジ面を保護している防塵キャップを外さないようにしてください。  
・取り付け時は必ずフランジ面を清掃してください。フランジ用ガスケットにはライニング配管用の PTFE 包みガスケットを使用してください。  
・ボルトには必ずスプリングワッシャを使用してください。ボルトの締め付けは、一度に規定のトルクまで締めず、3～4回に分けて対角線上を交互に均等な力で締付けてください。  
・締め付けトルクは、使用ガスケットの締め付け面圧になるようにしてください。  
・ライニング（フッ素樹脂）の性質上、一度締め付けても時間が経つと緩むことがあります。フランジの 24 時間後又は一回のヒートサイクル後に、ボルトの締め付けトルクを再チェックし、緩みがある場合は増締めしてください。

#### ④取付け環境

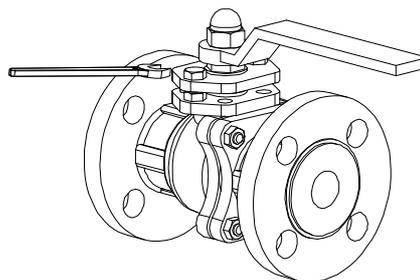
流体または製品の作動部が凍結するおそれがある場合は、凍結防止策を施してください。

#### ⑤取付け姿勢

取付け姿勢は正立から横向きまでとし、逆立は避けてください。製品の周辺には、手動操作、点検、交換作業が行えるスペースを設けて下さい。

#### ⑥保温施工上の注意

メンテナンスのためグラウンド部は保温しないでください。



#### グラウンドの増し締め

- ・グラウンド構造のバルブは、グラウンドパッキン部より漏れがないか確認してください。
- ・漏れが発見された場合は、グラウンドボルトを交互に均一に増し締めしてください。

#### 保守・点検

- ・使用状況、環境に応じ、定期的に点検を行ってください。
- ・通常半年に一度下記に従って行ってください。

##### 点検内容

- ・開閉の動作に異常はないか
- ・ねじ類の緩みの有無
- ・流体温度、使用圧力の確認
- ・バルブのステム周りからの漏洩の有無
- ・ボルトの締め付けトルクの確認
- ・バルブのフランジシール面に液のにじみ、漏れはないか

## 手動弁取扱注意事項

### 故障と処置

製品が正常に作動しない場合は、下記項目で調査、点検をしてください。原因が不明、部品交換、修理が必要な場合は、その状況をご連絡ください。

故障状況	原因	処置
中間位置で止まる	<ul style="list-style-type: none"> <li>シートに異物の噛み込み</li> <li>ボールにスケールが付着</li> </ul>	開閉動作を繰り返し、異物を除去する
バルブ本体から漏れる	<ul style="list-style-type: none"> <li>ボディとキャップの結合が緩む</li> <li>ボディの変形</li> </ul>	バルブを交換する
ベントホールから漏れる	ライニングに異常	
バルブ内部(シート)から漏れる	シートの摩耗、キズ又は永久変形	
ステム部(グランド構造)から漏れる	グランドパッキングが摩耗した	

バルブを交換する場合、不明な点は、弊社までお問い合わせ、又は交換要領書をご請求ください。